

就職・転職ノウハウ

書類選考をパスする 英文レジュメ

Pasona N A, Inc. pasona.info@pasona.com



書類選考をパスする 英文レジュメ

企業の採用担当者はどれくらいの数のレジュメを受け取っているのでしょうか? それは、企業の採用状況によって異なりますが、米国パソナのリクルーター/コンサルタントは年間500人を超える面接を行っており、レジュメの数は実際の面接回数の30倍以上、年間では15,000を超えています。弊社実績・経験をもとに、書類選考をパスするレジュメの書き方についてご紹介します。

Resume / 履歴書

レジュメは、自分の能力や資質、これまでの経験、取得した資格、学位などをまとめて採用 企業に自分をアピールする最初のコミュニケーション手段です。たった1、2ページと限られ たスペースの中でですが、あなたの魅力を最大限にアピールしてください。「ぜひこの人に 会ってみたい」と思わせるのがポイントです。

Simplicity / 簡潔さ

内容をより少ない言葉で簡潔に、明確に伝えることが大切です。多くの情報を書きすぎる と、採用担当者は流し読みをしてしまう傾向があります。 経験が5年未満の方は1ページで まとめるようにしましょう。経験が5年以上の方でも最大2ページまでに纏めるのがベスト です。フォントの種類やサイズ、パラグラフ(段落)、改行などに注意して、個性を強調しす ぎるよりも、読みやすさを優先してください。使うフォントの大きさはアクセントを出すため にも使い分けることをお薦めしますが、多くても2つまで、フォントサイズは10pt前後が好ま れます。また、読みやすくするには、ある程度の余白をもたせることも大切です。



Keyword / キーワード

最近の傾向として、数多く集まった履歴書をまずキーワード検索でスクリーニングする企業 が多くなってきています。採用企業が探している人材を表現するキーワードは、求人内容や 企業のウェブサイトから拾い出し、そのキーワードをレジュメに埋め込んでみてください。ま た、今までの業務経験、職務経験などの説明文には、Directed、Managed などの"Action Verb" (動作動詞)を有効的に使うことによって、パワフルな言葉使いができ、より良いレ ジュメができます。



Consistency & Numbers / 一貫性

レジュメには一貫性をもたせましょう。"Objective" (応募職種/目的) とこれまでの職務経 験が全く違うレジュメをよく目にします。もちろん新しいフィールドにチャレンジする場合は 仕方がないものの、そのなかでも応募するポジションに直接関係のない資格、スキルなどは 記載しない方が良い場合もありますので注意してください。

また、職務経験の中に数字を効果的に入れましょう。マネージメント、スーパーバイザーなど 管理職経験者は、何人の部下をまとめていたのか? 営業の場合は、担当顧客数や売上実績 がどのくらいあったのか? 経理の場合は、どれくらいの売上げの経理帳簿をつけていたの か? など、実際の数字を入れることによって、説得感のある、活きたレジュメになります。

一般的なレジュメの項目と配置

1. Contact Information

氏名、住所、電話番号、email アドレス (英文のレジュメでは年齢、性別、写真などを付ける 必要はありません。

2. Objective

希望職種や提供できる能力、どのような仕事をしたいか、またどのようなことに貢献できる かなどをを明記します。

3. Summary of Qualifications

今までの職務経験、取得した資格、得意とする分野などを箇条書きにします。また、ご自身 のパーソナリティー、長所などを記載するのもいいかと思います。 ここで上記に説明したキ ーワードを入れていくことをお薦めします。

4. Work Experience

今までの職務経験を記載する部分で、採用担当者が最重要視する項目です。会社名(勤務 地含む)、ポジション・タイトル、勤務期間(何年何月~何年何月まで)、 そして実際の業務 内容を新しいものから(日本の記載方法とは逆なので注意)記載します。

5. Education

学校名(所在地含む)、専攻(メジャー&マイナー)、GPA、卒業年月を最終学歴から記載し ていきます。 GPAの記載はオプションですが、効果的な場合のみ記載することをお勧め します。

6. Certificates

取得した資格・ライセンスなどを記載します。 TOEICなどはスコアと取得した時期も記載 するのがよいでしょう。

7. Skills

得意な言語や、ソフトウェアやプログラミング言語など技術的なスキルを記載します。

応募する職種に沿ったスキル、能力、経験、資格、学歴などを キーワードとともにしっかり と書き込み、シンプルに一貫性を持たせたレジュメをつくりましょう。採用条件に合う人材 だと見なされれば、面接のチャンスを高めることになります。また、自分で作成したレジュ メは必ず、母国語が英語の方に校正をしてもらうか、プロのリクルーター/コンサルタントに 確認してもらいましょう。

レジュメフォーマット

Chronological Resume

時系列(直近の仕事/会社順)に、「企業名」、「ポジションタイトル」、「期間」がリストさ れるフォーマット。

一般的によく活用され、採用担当者にとって最も分かりやすいとされる CHRONOLOGICAL SAMPLE

Functional Resume

応募するお仕事や業務内容にあわせ、強調したい経験をハイライトするフォーマット。 一般的に経験が長い方、エントリーレベルの方、または転職回数が多い方に適応しやすい **FUNCTIONAL SAMPLE**

Entry Resume

もっともベーシックなフォーマット 新卒の方に適応しやすい **ENTRY SAMPLE**

米国パソナでは、英文レジュメの添削やアドバイスを行なっています。 ご希望の方は、お気軽にご相談ください。



Pasona N A, Inc. pasona.info@pasona.com